回覧

2026 秋

NO.24

長久手市ボランティア・市民活動情報誌

ボランティア かわら版

ボランティア活動の四原則

自主・自発性
自らの「やってみたい」で

公共性
社会を豊かにして

無報酬性
見返りを求めず

継続性
無理なく続ける

9月8日の大雨を受けて
～地域の力で被災された方を支える～

令和8年9月8日、東海地方で集中豪雨が発生し、市内でも住宅への浸水などの被害が発生しました。

突然の大雨により、自宅の中まで水が入り、家具や家財が水に濡れました。トイレの逆流などにより、普段の生活ができなくなった被害がありました。

長久手市社会福祉協議会（社協）では、被災された方の生活再建を支援するため、被害状況の把握や相談対応を行うとともに、片づけを必要とする方とボランティアをつなぐ取り組みを行いました。

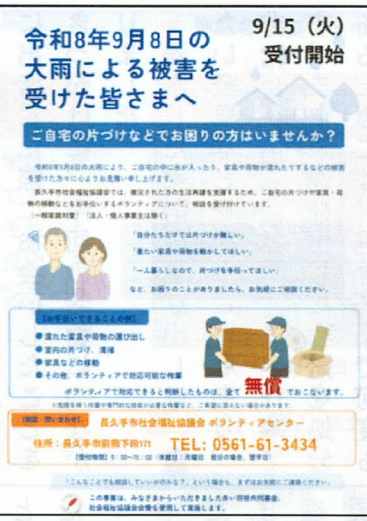
地域のつながりを生かした被災状況の把握

災害が発生した際、まず必要となるのが「どこで、どのような被害が起きているのか」を把握することです。

今回の大雨では、社協だけで被災状況を把握するのではなく、市内の自治会役員、民生委員・児童委員、シニアクラブ役員など、地域の皆さんにもご協力いただきました。

被災された方への支援に関するチラシを配布して、地域の中で困っている方へ情報を届けました。

また、社協では、日頃から地域の方々と関わっているコミュニティソーシャルワーカー（CSW）が、必要な方へチラシを届けるなど、情報の把握と支援につなげる取り組みを行いました。



災害時には、被害に遭われた方自身が「助けてほしい」と声を上げることが難しい場合もあります。

だからこそ、日頃から地域の様子を知っている方々の存在が、支援を必要とする方を見つけ、必要な支援につなげるうえで大きな力となります。

今回、地域の皆さんにご協力いただいたことで、社協からの情報を地域へいち早く届けることができました。

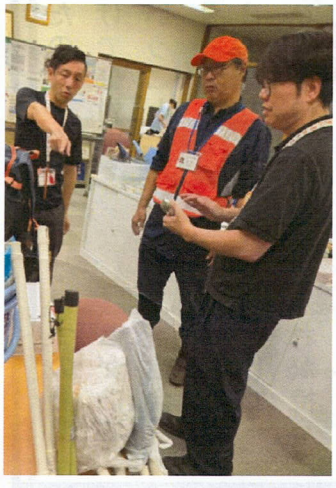
「誰かに手伝ってほしい」という声に

水が引いた後も、被災された方にとっては、そこからが生活再建の始まりです。

濡れてしまった家具や家財を運び出したり、室内を清掃したりする作業は、体力的にも大きな負担となります。特に、高齢の方や一人暮らしの方などにとっては、自分だけで対応することが難しい場合もあります。

そこで、ボランティアセンターでは、片づけの手伝いを必要とする方から相談を受け付け、必要な支援内容を確認しながら、協力いただけるボランティアとの調整を行いました。

また、今回の支援では、広く一般から募集するのではなく、まずは長久手市内在住の方、社協に登録しているボランティア、これまでに災害ボランティア活動を経験した方などに協力を呼びかけ、事前登録をお願いしました。



問合先　長久手市社会福祉協議会ボランティアセンター☎0561-61-3434

地域の経験者が力を貸してくれました

９月１５日には、長久手防災支援隊のメンバーと、災害ボランティアグループ「ＷＡＥＮ」のメンバーの２人が活動しました。浸水被害のあった室内の清掃や、逆流したトイレの清掃など、負担の大きい作業に取り組みました。

お二人は、これまでも被災地支援に何度か足を運んでいる方々です。今回も「地元のために」と快く活動にご協力いただきました。

災害が起きたとき、被災地へ出向いた経験や、これまでのボランティア活動で培った知識や経験が、地域の中で大きな力になっています。

「運ぶ力」が大きな支えに

９月１７日には、市内で運送業を営む合同会社Ｂｉｇ Ｓｕｍの社長と社員のお二人が活動されました。

活動内容は、浸水被害を受けたお宅から家財を運び出し、処分する作業です。



社協職員が自治会関係の会合に出席した際にお会いしたことをきっかけに、今回の活動につながりました。

浸水した家財の運び出しは、重たい家具などを扱うこともあり、非常に体力を必要とする作業です。また、運び出した家財を処分するためには、処分先まで何度も運搬する必要がありました。

社協が所有する車両にも限りがある中、運送業を営むＢｉｇ Ｓｕｍさんの力は大きな支えとなりました。

「どうやって家財を運び出そうか」「処分方法はどうしたらよいか」と社協職員も悩んでいたところ、一緒に考えてくださり、迅速に家財の運び出しを進めてくれました。

「ありがとうございました」の言葉

今回、ボランティアを派遣した住民の方からは、

「まだ水没したごみの処分などが残っていますが、２日間にわたり丁寧に活動してくださり、本当にありがとうございました」

と、感謝の言葉をいただきました。

被災された方にとって、家の中の片づけは、単に物を運び出すだけの作業ではありません。これまで暮らしてきた大切な家財を整理し、少しずつ日常の生活を取り戻していくための大切な一歩です。そこに地域の方が寄り添い、力を貸してくださることは、作業そのものだけでなく、「一人ではない」と感じることにもつながります。

災害をきっかけに、地域のつながりを

今回の大雨を通して、改めて感じたのは、災害時には一つの機関だけでは対応できないことがあるということです。行政、自治会、民生委員・児童委員、シニアクラブ、地域の団体、企業、そして一人ひとりの市民。それぞれが持っている経験や技術、車両、体力、知識などを持ち寄ることで、被災された方への支援につながります。

今回、被災状況の把握やチラシの配布やボランティア活動にご協力いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。

災害はいつ起こるか分かりません。だからこそ、平常時から地域の中で「困ったときはお互いさま」と言える関係をつくっておくことが大切です。

ボランティアセンターは、日頃のボランティア活動だけでなく、災害時にも「困っている人」と「力になりたい人」をつなぐ役割を担っています。

今回の大雨を一つのきっかけとして、地域の皆さんとともに、災害に強く、支え合える長久手市をつくっていきたいと思います。

問合先　長久手市社会福祉協議会ボランティアセンター☎0561-61-3434

ボランティア情報

地域を盛り上げる一杵



地域のイベント・おまつりで、もちつきを実施しています。これから秋に向けてイベントが盛りだくさん。年齢・男女問わずどなたでも大歓迎！この機会に、ぜひメンバーになりませんか。

長久手市内

- 日　時：イベントによります
- 団体名：がんこおやじの会

運転がつなぐ思いやり



今、免許を返納した高齢者など、移動に困っている方を支える運転ボランティアを募集しています。あなたの“いつもの運転”が、地域の安心につながります。

長久手市前熊

- 日　時：要相談
- 施設名：長久手市社会福祉協議会

笑顔あふれるひととき①

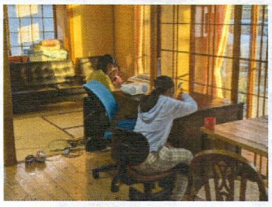


障がいのある児童などが学校～自宅に帰るまでに過ごす場です。一緒におやつを作ったり、それぞれが時間を過ごせるように見守ったり、お話相手をするボランティアを募集しています。

長久手市作田

- 日　時：月～金　16時～18時の間で要相談
- 施設名：創楽（日中一時支援）

笑顔あふれるひととき②

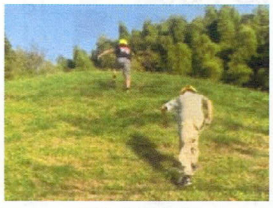


障がいのある児童などと一緒に昼食やおやつ作りをしたり、おでかけレクリエーション（カラオケ・映画など）の同行をしてくれるボランティアを募集しています。

長久手市作田

- 日　時：第2・4土　①10時～13時の間で要相談
  ②14時～17時の間で要相談
- 施設名：創楽（日中一時支援）

笑顔のそばで



特性のある子たちの「やってみたい！」を大切とする療育の場です。一緒に公園に行ったり、工作や子どもたちと一緒に過ごすボランティアを募集しています。

長久手市山越

- 日　時：平日15：00～17：30　土・祝9：30～16：00
- その他：１日だけ、３０分だけでもOK
- 施設名：児童発達支援・放課後等デイサービスみちくさ

心をつなぐ、笑顔の時間



身体・知的・精神障がいのある方が通う、施設でのボランティアです。利用者さんとのお話相手や、おやつなどを召し上がる時の見守り、時には外出レクの際の付き添いなどを行います。見学大歓迎！

長久手市片平

- 日　時：月～土　10時～15時の間で要相談
- 施設名：生活介護　きんつば

世代を超えた交流の場



幼児から高齢者地域スペースでのボランティアです。そこに集う人たちとの会話がメインのボランティアです。
ボランティアはじめたい方にお勧めです

長久手市根嶽

- 日　時：月～日　9時～18時の間で要相談
- 施設名：どんぐりの杜

ボランティアが必要な施設さん募集

ボランティアセンターでは、ボランティアに来てほしい市内の高齢者・障がい者施設さんを募集しています。

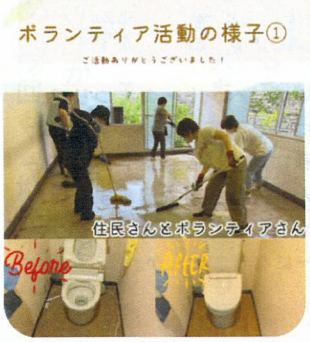
・利用者さんの話相手をしてほしい
・音楽などで誕生日会を盛り上げてほしい　など

まずは、本センターにご連絡ください。

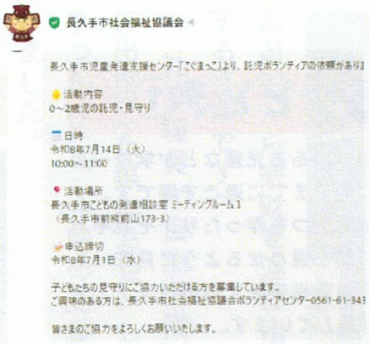
問合先　長久手市社会福祉協議会ボランティアセンター☎0561-61-3434

公式LINE・Instagramで情報発信中！

長久手市社会福祉協議会では、公式LINEとInstagramで情報発信を行っています。ボランティア募集情報や各種講座・イベントのご案内、地域福祉に関する情報などを随時お届けしています。LINEでは最新情報を手軽に受け取ることができ、Instagramでは活動の様子やイベントの写真などを紹介しています。ぜひ友だち登録・フォローをしていただき、身近な福祉情報の収集にお役立てください。皆さまのご利用をお待ちしております。



NAGAKUTE_SHAKYO



LINE

ボランティアはじめたい方・活動している方

ボランティア活動について気軽に話せる『ながくてボランティア相談』を開催しています。どんな活動があっているのか、活動でうれしかったなど、いろいろ聞かせてください♪

- 開催日：毎週水曜日（第5週は休み）
- 時　間：13：30～15：30
- 場　所：ボランティアセンター
- 相談無料

ご家庭でできるボランティア

ボランティアセンターでは次のものを集めています。

- 古切手
- （缶の）プルトップ　（アルミとスチールの分別必要）
- ベルマーク
- ペットボトルキャップ

編集・発行元

社会福祉法人
長久手市社会福祉協議会　ボランティアセンター

住所：長久手市前熊下田171
TEL：0561-61-3434
休館日：月曜日（祝日の場合は翌平日）
開館時間：9：00～17：00

